



No. 4

発行所 山形県手をつなぐ親の会事務局
山形市小姓町1丁目5ノ2
TEL 山形 (2)8807
印刷所 K. K. 誠文堂印刷所

山形県手をつなぐ親の会

総会が開かれた

とき 昭和四十年九月十九日(日)
ところ 山形市立第二小学校講堂

社団法人として新しく発足した県親の会も会員皆さんの盛りあがる結果と後援団体の深い御理解を得まして

- 。軽いものには自立
- 。重いものには保護
- 。親なきあとの保障

この子らも毎日の幸せをあすの目標にほんとうに意義ある活発な発言があり昭和四十年の総会も無事終了終つて大会にうつり分科会の報告協議まとめとして本年度の活動方針と目標と云つた順序で真剣な話し合いの中にもなごやかな会でした。
総会と大会の記録をお知らせいたします。

山形県手をつなぐ親の会総会記録

議事

一、三十九年度決算書について

。理事会で承認を得てる。
。東北大会が大きな事業であつた。
。その後関心が高まつてきて、子ども

もについて相談をする親がふえてきた。
。十二月末会長名で施設建設の陳情
。請願を要請したところ、多くの協
。賛署名を得た。愛の貯金箱を持つ

て知事、副知事にお願ひに行つたら、感銘を得られたようで施設の設立に力を得ました。
。会計上のミスについて

三十九年度決算書の繰越と四十年年度予算書の繰越の額面の違いの件。決算書は四十年三月三十一日現在で作成したのに、四十年年度予算書は法人認可の時期(五月二十一日現在)で作成したために、その後の鉛筆の売り上げ収益金が増つたものである。
。拍手をもつて承認。

二、四十年年度事業計画

事業の大きな計画

(1) 庇護授産施設、終身施設設置の運動

- 秋田 東山学園
- 郡馬 榛名郷の視察
- 茨城 鹿島学園

(2) 相談事業

。重症精薄の手当の問題

申請が少ない、新潟県の受給者の半分ていど。福祉事務所、親の会に申し出て恩恵を受けるように。
。相談所に相談することが望ましい

三、四十年年度の收支予算

繰越金について補足説明
。拍手で承認。

分科会報告

一、父親を中心とした分科会

。庇護施設の基礎調査についてくわしい説明を求められた。
。コロニー設立趣意書をもとに話し合われた。
。理事会で最後は重度障害として扱われない子ども、扶養手当にももれる子ども、軽度の子どもで職能訓練で里親のもとで働く子を除きIQで五十以下十七〜八才くらいの子ども、通園、収容施設、特殊学級の中で特に手数のかかる子の将来について親なきあとの保障、終身収容施設ということで話された。

。理事会でも四十年年度の重点目標としてやつていく気連にある。
。理事の方たちに三カ所を視察していただいた(岩井さん、太田さん、郷野さん)。
。母親の分科会でも話されたかと思ふが、その点の説明を求められ各地区からも関連質問があつた。
。終身収容施設負担金三十万円が中心の話題であつた。算定基準について郷野さんから話された。
。重症心身障害者の施設について山形県ではどう考えてるか児童課の

真下先生に説明していただいた。重度、軽度障害者というのはいった基準をさしていつているのか永井先生から説明していただいた。

。長井地区からは最後の願いなので強力に押し進めていこうというところで、三十万円の負担能力のない家庭の子についてはどう考えているかの質問があつた。これについてはさらに検討し、今後研究していくものであるということであつた。

。究極は問題は山積しているが、親として今起ち上がらないと時期を失する。あしたからするということでもないし、個人としてはしあわせを願いながらどの道をいけばいいのかわからない。財団法人コロニー設立趣意書の中にある設立準備委員会の構成を考えて終わつた。

二、母親を中心にした分科会

。母親として切実な問題には就職のことである。中学の特殊学級を出て、職場に出、あるいは施設を十八才で出されても不安である。やまなみはやつていけるが、遊佐の施設については会員の理解ができてないので希望してもやつてゆけ

るか児童課長の説明を聞いた。鶴岡からも中学を出たあと、職業指導をやつて欲しい。養護学校とその中に高等部の設置をと要望があつた。

。学校では職業訓練といつても生活訓練なので、学級を出ても二年くらい、同室制の授産所が指導性の一貫性、社会性を加味して考えていく必要がある。

。現在ある母親が病気臥床しているが子どものことが不安だという例がある。長女、次女が精薄で長女は二十才で最上学園を出、母親はふたりを見、父親は出かせぎをしけがをして入院している。母も病気に倒れたが、何とかできないか。みんなで慰め合い、励ましていきたい。

。金森園長先生は三十人を扱っているが二、三人の子を持つ親のため重度者をやまなみに収容するため、親の働きかけが必要であるといわれた。

。山形の方は勇気をもつて職場に出した。現在安定しているが、将来親なきあとの保障としてコロニーが欲しい。子どもの将来に不安があるので十八才後のこと、親がなくなつたあ

とについて、児童課長から五か年計画で重症児収容施設を考えてることが話された。

。最上学園の政策と増員について、年限を二年の養護でなく収容施設に考えていきたい。我々の熱意でもつていけるものがある。みんなの力添いをいただきたい。

三、協 議

まとめとして

(父親の部会) 庇護施設の問題ではコロニー設立は賛成で全員決議でもつていきたい。ただ原案にある三十万円の負担能力のない親を見落とさないように。

(母親の部会) 中学を出て就職しても脱落してしまうので一定期間の職業訓練の機関で適応させるため養護学校の高等部をもつて満たしていくように。コロニーを親がなくなつてもということ欲しい。県でも重症者対策として考へて。最上学園のこともあり、親たちが熱意をもつて集約的に折衝すること道は開ける

(1) コロニー設立の問題

。郷野さんか愛染学園の実施について話がある。二十六名扱っている。一〇〇余名が待機している。十年間に六十

名くらい扱い、五名ほど失敗例がある。

。二Qは平均三十八・五だが、問題にしない。作業能力は普通児と変わりない。

。子どもは茶わんと箸をもち、家族の顔と名を識別し、使用さえできれば、その子のもつている限界点までのばしてやつていけるようになる。

。東山学園の例をみると社会福祉法人になると、国八割、県二割ということ設備基準を整え、月八〇〇円というところまでになつた。八か月で設立認可になつているので全部が三十万円を使うわけではない。国の処置費でやつていけるかという、作業収益を見込めるとすればじゅうぶんやつていける。

。いろいろの具体的な問題についてはコロニー設立準備委員会を作つて仕事を進めていくことに全員賛成。

。その準備については理事会に任して欲しい。賛成。

(2) 養護学校の件について

。職業訓練のため養護学校の高等部を作つて欲しいという件について、県教委では特殊学級を作つて

いく意向と聞くが、養護学校の必要性についてはどうか。

肢体不自由児の養護学校に専心しているので精薄はあとまわしになる。なお養護学校は鶴岡がセンターなので、鶴岡にというようなことも考えられているらしい。

効果としては、設備の充実、教育費の無償、担任者の共同研究体制、職業教育、高等部の設置などが考えられるが、判別基準の改定で四十以上は、はいれる。

◎今後養護学校設置促進運動を起すことに全員賛成。

(3) 重症者収容施設の誘置について

去る六月県会で重症施設の誘置について採択し、厚生省に陳情している。

県も熱心にすすめ真下主査らは島田学園、びわの施設を視察した。東北六県知事会でも一か所設置を要望した。一道七県の民生部長会でも同じ内容で陳情要望した。

政府でも明年九ブロックに置きたいということで心身障害児(者)対策については前向きである。

重症施設は高度な障害で社会復帰の困難なものが収容されるところで国、公の力でやつてもらわ

いと方法がない。コロニーにしても経済的収支のバランス、赤字で苦んでいるし、重症のもののため経営の費用がないだけに公共の費用でやつて欲しいものである。国にもその気運があるとのことだが、具体的な意向を聞きたい。

結核病棟の空ベットを利用することから国立療養所のあいてる所を考えてようだが、厚生省としては医者と看護婦の希望が心配だとのことであつた。宮城、秋田、岩手が積極的に動いている。

医療法にいう病院になつてひとり一月三万円の入院費があることになる。健保が適用されるかどうかかわからない。しかしPTA連合会も全面的にバックアップすることを決議され、その席に教育長も

いての話で県議会に取り上げられ議決を得たが、県民運動にしようという意向だつた。

◎いろいろ問題があつても県内への誘置促進運動を起すこと賛成。

(4) 中学卒業後の職業訓練について

。中学校三年間では徹底できないので、文部省は二年義務年限の延長を陳情できないか、(養護学校など手間のかかることでなく)。東京の墨田区ではTVあすへの

歩みでみたところ、特殊学級の先生と社会に出てからも週一・二回とか月一回とか教育を受ける機会を持つていた。そのようなことでもできたらと思う。

就職のできない子の社会復帰を考えると特殊青年学級といった程度のものではもの足りない、町に授産所を作つて欲しい。しかし義務年限の延長ができれば青年学級式のものもいと思う。

。実際問題として親は原級留置きを承知しても子どもは六年あるいは中学三年を卒業するのに喜びをもつている、その気持ちをどうするか。理想は養護学校高等部の設置で、それができないうちに授産所の設置もいだろう。

。寒河江では授産所的なものを作ろうと一〇〇円運動を始め、授産所の賛助会員を募集している。

初めの就職者を出すにあつて言語、肢体の不自由それに Toile の三重苦の子で安室所に行き社会的自立の道を探したが、子ども

に合つた事業所はなかなか得られない。親も落胆した。郡とか市単位にせび授産所が欲しい。コロニー設置に賛成するが、今就職する子どもに職場実習、校外実習、そして職場そのものが強く要望される

。北九州から相談が来た(郷野さんへ)

。どういう職種がいか、ということ、お金のことだつた。

。二か月で五十万円の商品を送つてやつたが、それで三十万円の利益をあげ、タワシ作りの授産所を作つた。就職についてはあたりまえで勤めさせるつもりではだめで親がお金を出して職業訓練をしてもらうつもりでもやつていたらと思う。

。職親に五〇〇円の手当ではやり切れない。助成費の中から取り上げるとはという考えもある。身体障害者雇用促進法と同じに、全国大会に精薄者雇用義務制を取り上げてもらいたい。

まとめ

。コロニーを我々で作つていく。設立準備委を設け、県内官民から政治的力を入れて発足しよう。

。職業訓練の場が欲しい。養護学校の設置運動を促進しよう

。できるまで特殊青年学級、郡市単位の授産所を職場との結びつきのため職親制の検討を

。重症施設を東北ブロック設置については山形県に設置方を陳情。

(記録 三好八柳)

精神薄弱者全国大会と愛のパレード

とき 昭和四十年九月廿五日(日) 廿六日の二日間
ところ 東京都日比谷公園大音楽堂
参加者 鶴岡市手をつなぐ親の会々長 今井章介
県親の会常務理事 岩井六郎

廿五日には松本楼に於て理事会
午後一時—五時半まで全国大会及び愛のパレード。あいにくの雨天の
為、名門校と云はれる日比谷高校大講堂にて全国大会。
北は北海道、南は沖縄、全国都道府県より集合した代表と地元東京都
の会員が一室に会し中々の盛会でした。

来賓として各氏より祝辞がありました。

内閣総理大臣—橋本官房長官代読。中村文部大臣、鈴木厚生大臣、東
東京都知事、天野労働大臣—労働次官代読。法務大臣、山下春江参議院
議員、岩田衆議院議員。其の他多数。

その祝辞の中で総理大臣の祝辞の中に昭和四十二年度より特殊学級義
務制とする予定。労働大臣の祝辞の中に厚生、文部と連絡の上、職業教
育訓練に善処したいと云うお話がありました。

翌廿六日の評議員会と研究会では中学三年の職場実習が大きくとりあ
げられ各省の係官の説明等がありました。

次に文部省労働省の考へ方をお知らせ致します。

◎研修会抜すい

◇文部省の職場実習に

ついでの方考え方

職場実習についての文部省の考へ方
と指導

1、基本的立場

(ア) 中学校特殊学級は、職場教育
が中心であること

2、職場実習についての文部省の指 導方針

- (イ) 教育課程の一部としてあらか
じめ計画し実施すること。
- (ロ) 教員の指導、巡回のもとに行
うこと
- (ハ) いかなる名目にもせよ報酬を
とらないこと。

◇労働省の考え方

- 1、校外実習の名であつても
- 1、生徒が事業主の指揮監督下にあ
つて
- 2、報酬を受ける

といふ二点を満すと年少労働者と
認められ、労働基準法第五十六条
によつて禁止されている職場に入
ることができない。(生産工場は
だめ、商店や農場のようなところ
だけ残る)

- 3、先生が常時監督するか報酬を直
接にも受けなければ労働者でない
から監督署の範囲外となる。年少
労働者保護の観点から監督官とし
ては注意して見守るであらうし、
危険であれば警告することになる

安全が保証されねばならない。
もし事故があつた場合、保障の途
がなく、責任の所在も明でない。

以上

以上の事柄に関し文部省松原事務

官の説明があり。

次に大阪府、精薄児の父親中学校
PTA職業指導責任者

精薄児(中学三年卒業生)の職場
実習を実施した体験を通して。

実習に出た精薄児の実際生活面に
於てかつて得られなかつたる子供達
に明朗な社交性が培はれた。この事
実は精薄児にとつて何物にも更え難
い職業指導と信ずる。

文部、厚生、労働の三省が総理府
に集つて審議しこの隘路を開いて頂
き度い。

労働基準法の改訂を希む声しきり
熊本県では教育委員会が正式にこ
の問題を採りあげて各省に(四〇、
八、四)陳状したとのこと。

以上抜すいして
(九月廿六日 岩井記)

◇あ と が き◇

。今年度は年度始めから計画的に県
親の会たよりを出す予定でしたか色
々の事情で遅延しましたことをお詫
びします。

。次回は、精神薄弱者コロニー建設
の準備のため秋田県花輪町にある牧
養施設東山学園、群馬県箕郷コロニ
ーはるな郷、茨城県鹿島町鹿島福祉
センター視察見聞記を出す予定です

(事務局 岩井記)